

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

979

観光案内事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		観光案内事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 南方 盛治 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	観光客をスムーズに目的観光地へ案内したり、和歌山市の魅力ある観光スポットを紹介できるようにする。		J R和歌山駅・南海和歌山市駅・和歌山城にある観光案内所の運営、まちなか観光案内所の運営		
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	○ J R和歌山駅・南海和歌山市駅・和歌山城にある観光案内所の運営 ○ まちなか観光案内所の運営	○ J R和歌山駅・南海和歌山市駅・和歌山城にある観光案内所の運営 ○ まちなか観光案内所の運営	○ J R和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営 ○ まちなか観光案内所の運営	○ J R和歌山駅・和歌山城にある観光案内所の運営 ○ まちなか観光案内所の運営	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	13,332	13,330	10,763	10,763	7,721	7,721	7,715	0	7,715	0	
伸び率(%)	△22.8%	△20.2%	△19.3%	△19.3%	△28.3%	△28.3%	△0.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	2,558	1,279	1,450	1,531	1,513	1,513	1,513	0	1,513	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,558	1,279	1,450	1,531	1,513	1,513	1,513	0	1,513	0
国庫支出金	6,662	6,662	0	0	0	0	3,857	0	3,857	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	6,670	6,668	10,763	10,763	7,721	7,721	3,858	0	3,858	0	
所要人数(人)	正規職員	0.32	0.16	0.18	0.19	0.19	0.19	0.19	0.00	0.19	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	観光案内業務委託料7,715千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	観光案内所数	箇所	目標値	3	3	2	2	2
			実績値	3	3	2		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	まちなか案内所数	箇所	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	16	16	16		
			達成度(%)	64%	64%	64%	%	%
成果指標	年間観光客数(暦年)	千人	目標値	6,830	7,000	7,030	7,060	7,090
			実績値	6,686	6,904	4,468		
			達成度(%)	97.9%	98.6%	63.6%	%	%
	観光案内所での案内件数(暦年)	人	目標値	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
			実績値	33,681	39,905	9,897		
			達成度(%)	22.5%	22.5%	6.6%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果目標については達成できなかったが、アフターコロナを見据え、外国語対応の案内をより充実する方向で取り組んでいく。
見直し・改善内容	外国人観光客に対応するため、観光案内所に外国語の対応ができる職員を配置する。